



SDVがもたらす ユーザー価値向上とは

日産自動車株式会社
ソフトウェアディファインドビークル & コネクティッドカーサービス 本部
理事 / プログラムダイレクター
甲斐 大典

日産SDVの歩み

日産SDVの歩み – コネクティッドカーサービスからSDVへ

- 日産CCS（Connected Car Services）はSDVコア技術を用いて着実に進化
- より良いお客様体験を提供すべく、CCS/SDV開発を強力に推進

2019 -



第一世代

CCSプラットフォーム構築

OTA* (Infotainment)

サブスクリプション
サービス

2021 -



第二世代

カスタマー体験
の強化

OTA* (All the domains)

常に最新化

2023 -



第三世代

3rd パーティー
エコシステム
接続

Google Built-In with One ID

One-ID &
パーソナライゼーション

WE
ARE
HERE

近い将来



ライフタイム
バリュー創出

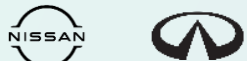
将来世代

AI進化による
バリューの革新

日産SDVの歩み – コネクティッドカーサービスからSDVへ

- 日産CCS（Connected Car Services）はSDVコア技術を用いて着実に進化
- より良いお客様体験を提供すべく、アップデートを継続

2019 -



第一世代

CCSプラットフォーム構築

OTA* (Infotainment)

**サブスクリプション
サービス**

2021 -



第二世代

**カスタマー体験
の強化**

OTA* (All the domains)

常に最新化

2023 -



第三世代

**3rd パーティー
エコシステム
接続**

Google Built-In with One ID

**One-ID &
パーソナライゼーション**

WE
ARE
HERE

近い将来



**ライフタイム
バリュー創出**

将来世代

**AI進化による
バリューの革新**

2025 JD Power IQS(米国)



日産、J.D.パワー初期品質調査（米国）で量販ブランド最高評価



J.D. Power 2025 U.S. Initial Quality StudySM(IQS)

Brand Ranking

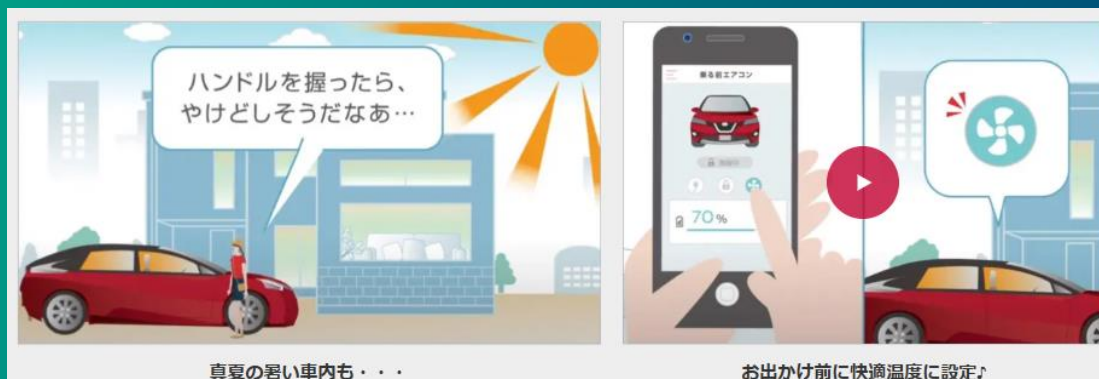
Problems per 100 Vehicles (PP100)



お客様ペインポイントへの対応事例（日本）



乗る前エアコンの追加



画面下部のMapメニュー非表示選択



到着時のSoC (State of Charge) 予測を常時表示



SAの急速充電機情報追加



日産SDVの歩み – コネクティッドカーサービスからSDVへ

- 日産CCS（Connected Car Services）はSDVコア技術を用いて着実に進化
- 2023年（米国）から最新の第三世代を市場投入

2019 -



第一世代

CCSプラットフォーム構築

OTA* (Infotainment)

**サブスクリプション
サービス**

2021 -



第二世代

**カスタマー体験
の強化**

OTA* (All the domains)

常に最新化

2023 -



第三世代

**3rd パーティー
エコシステム
接続**

Google Built-In with One ID

**One-ID &
パーソナライゼーション**

WE
ARE
HERE

近い将来

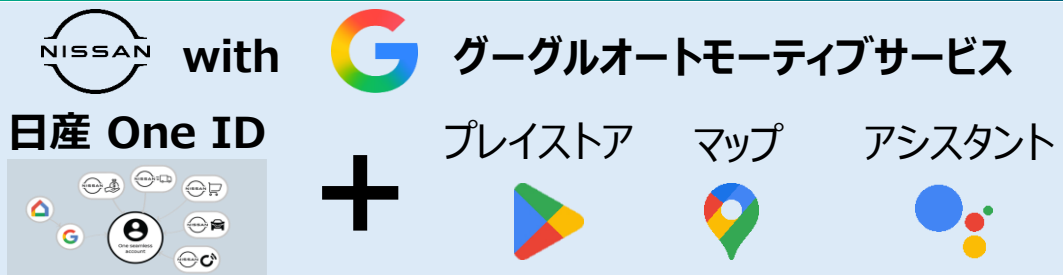


**ライフタイム
バリュー創出**

将来世代

**AI進化による
バリューの革新**

日産コネクティッドカーサービス第三世代 市場投入状況



市場とラインアップ全体への拡大

FY23	FY24	FY25
	 QX80	 QX60
	 Armada/Patrol	
	 Murano	
 Rogue/X-Trail Minor Change		 X-Trail Minor Change
	 Qashqai Minor Change	 Leaf
		 Roox

NISSAN
MOTOR CORPORATION

すべてのユーザーに対する統一された体験



新型 日産LEAF (リーフ)

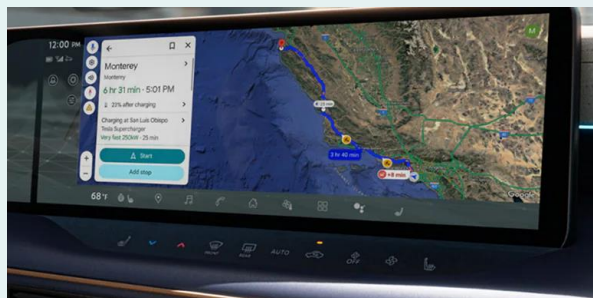
 **WARDS**
10 Best Engines &
Propulsion Systems.



日産のEV & エネルギーエコシステム

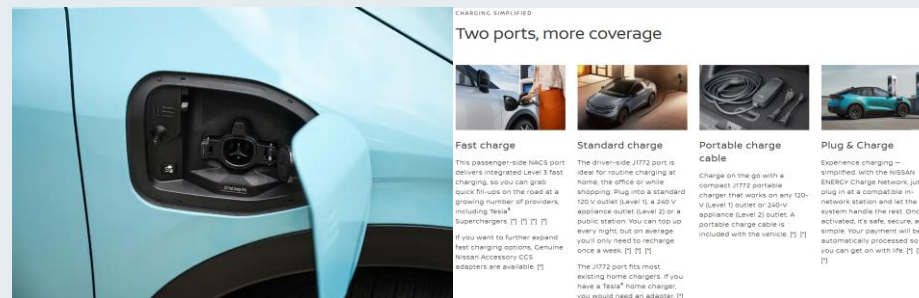
📍 インテリジェント ルート プランナー

EV向けにカスタマイズされたスマートナビゲーション
充電ニーズ、交通状況、運転習慣に基づいたルートの最適化



🔌 NACS ポートとの互換性 & プラグアンドチャージ

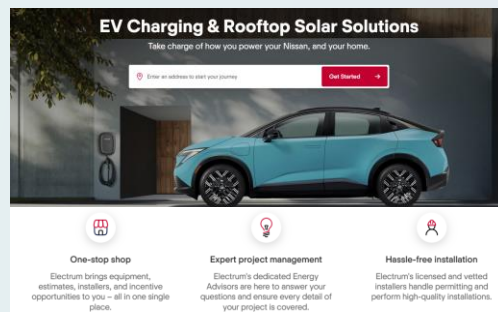
NACSポートとの充電互換性の拡大
およびプラグ&チャージによるシームレスでシンプルな認証



🏠 日産エナジーマーケットプレイス

エネルギーサービス、サブスク、家庭用充電ソリューション
を管理するための統合デジタルプラットフォーム

NISSAN ENERGY | Marketplace



⚡ ビークル to グリッド

英国でOEMとして初めてV2G認可を取得
2026年 車両への搭載予定



TÜV Rheinland awards the automobile industry's first G99 grid code certification to Nissan Motor Co., Ltd.

United Kingdom | 19 November, 2024

日産のEV&エネルギーエコシステム 事例：欧州V2G (Vehicle to Grid)



EUR
Certificate of
Conformity

EUR
Certificate of
Conformity

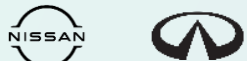
「Vehicle to Grid」技術でEVの可能性をひろげる | 日産 – YouTube

ユーザー価値向上の取り組み

日産SDVの歩み – コネクティッドカーサービスからSDVへ

- 日産CCS（Connected Car Services）はSDVコア技術を用いて着実に進化
- 次のステップはAI進化によるバリューの革新

2019 -



第一世代

CCSプラットフォーム構築

OTA* (Infotainment)

**サブスクリプション
サービス**

2021 -



第二世代

**カスタマー体験
の強化**

OTA* (All the domains)

常に最新化

2023 -



第三世代

**3rd パーティー
エコシステム
接続**

Google Built-In with One ID

**One-ID &
パーソナライゼーション**

WE
ARE
HERE

近い将来



**ライフタイム
バリュー創出**

将来世代

**AI進化による
バリューの革新**

AI進化によるバリューの革新

■ SDV x AI の推進



AI-driver

AIによる自動運転



AI-Eco system

オープンエコシステムと接続した
AIエージェントによる
真のパーソナリゼーション



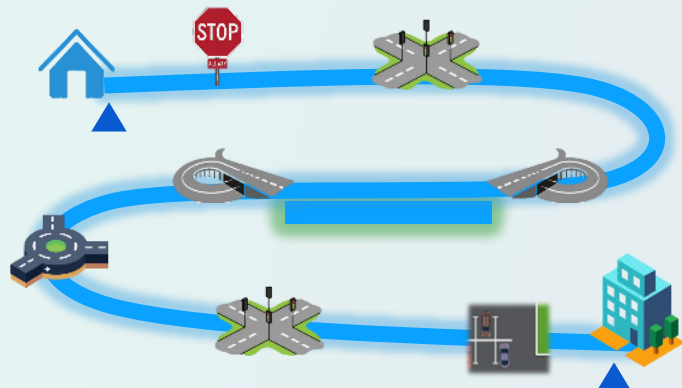
AI-Software Development

AIによるソフトウェア開発支援

AI-Driver 日産の次世代運転支援技術 (ProPILOT)

- 最先端の安全・快適なDoor to door移動体験
- クラウドテクノロジーによる自動運転の進化

次世代運転支援技術 (ProPILOT)

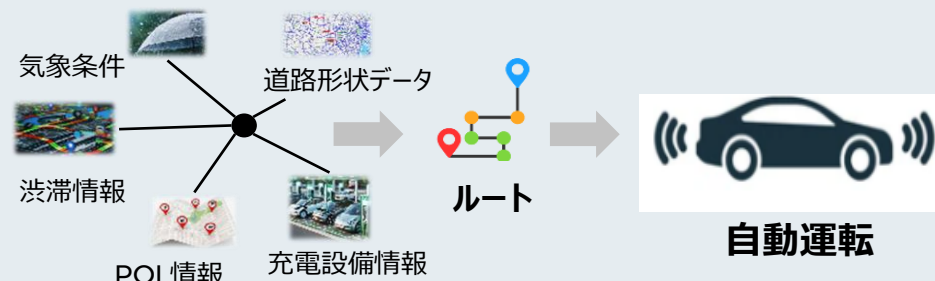


Door to doorイメージ



E2E AI による複雑なシナリオでの運転シーン
(2倍速再生)

クラウド連携によるスマートルートプランナー

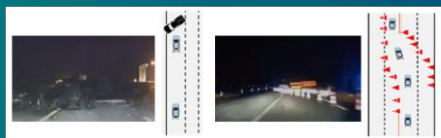


クラウド上のAIアップデート



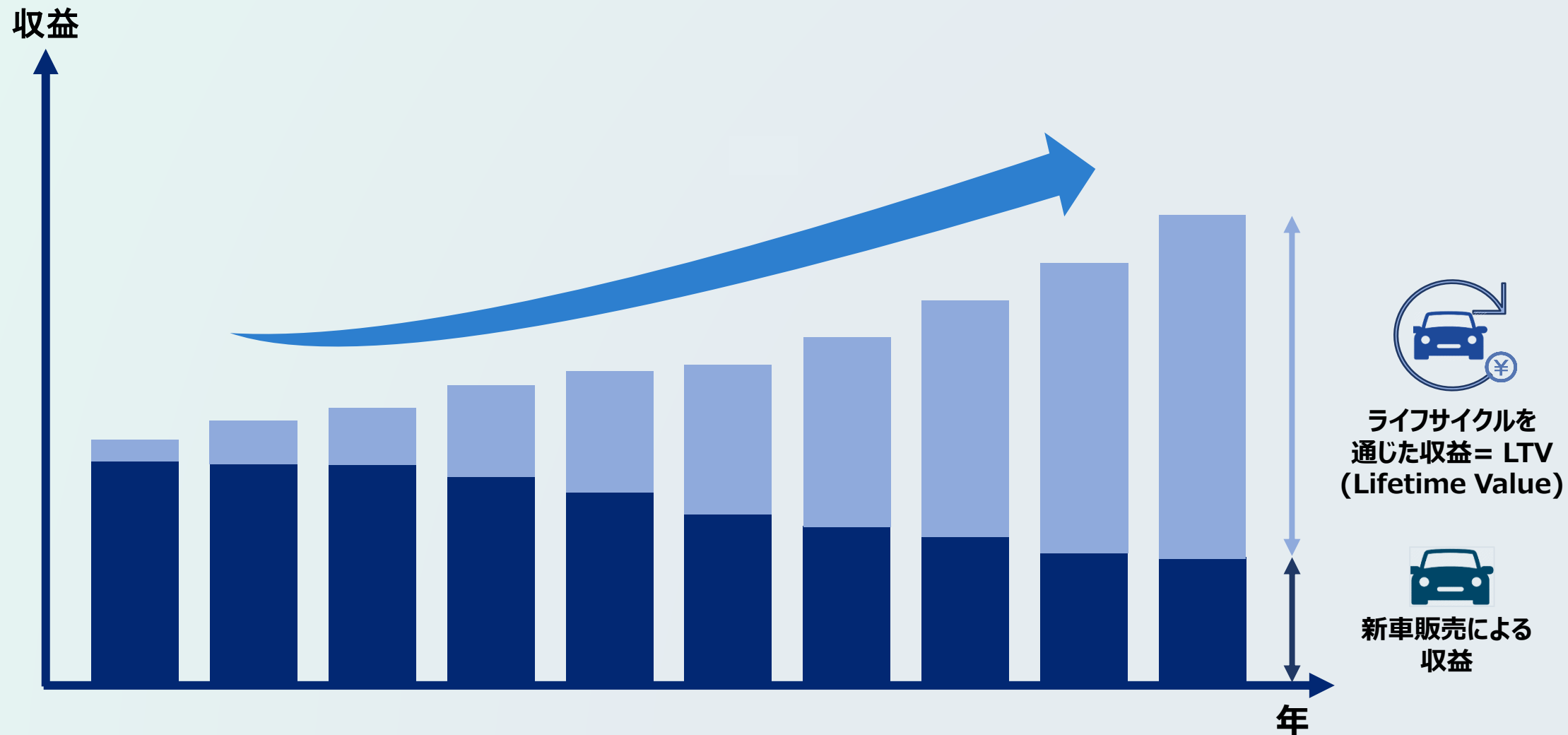
日産の次世代運転支援技術 – AI & 360°センシングと車両制御技術の融合

- AI & 360°センシングと車両制御技術でプレミアムクラスの安全性と快適性を実現
- Wayve AI Driver により熟練ドライバーのような運転を実現

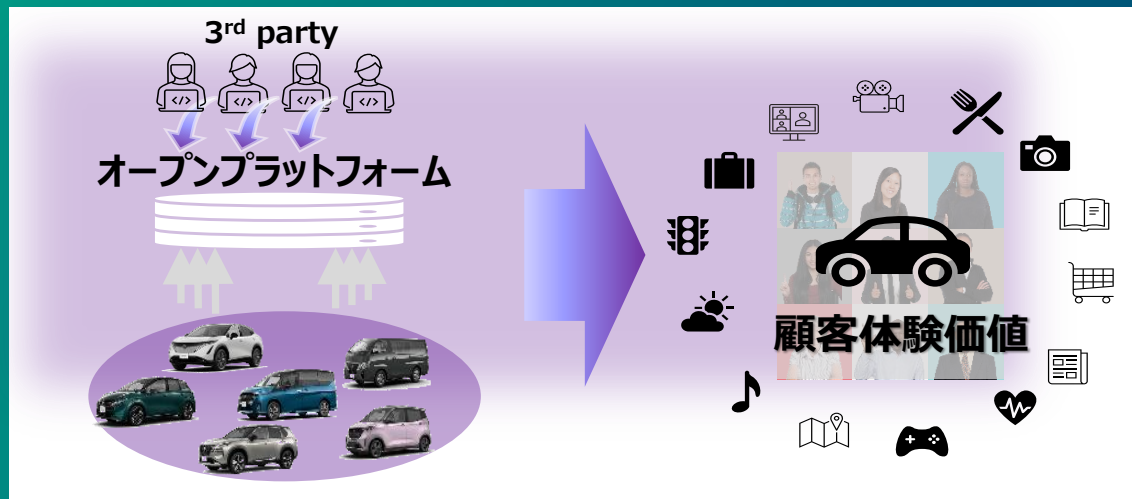


03 ビジネスモデル

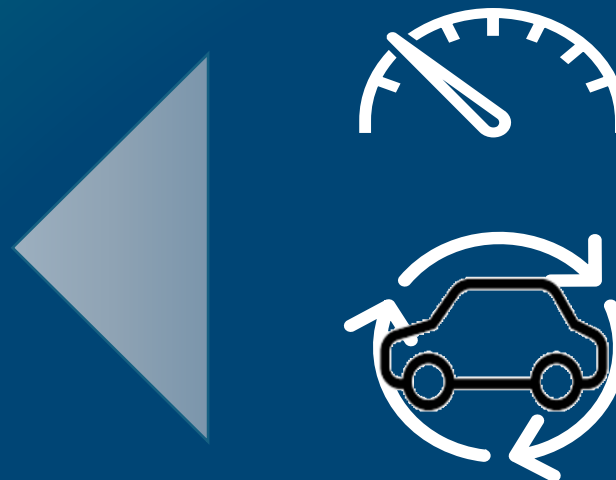
自動車メーカーの課題



SDVが実現するもの



オープンプラットフォーム（異業種エコシステム連携）による
ライフサイクルを通じた顧客体験価値の提供



劇的な開発スピードの向上
とコスト低減

Upgradability（アップグレード）
素早く、進化し続ける



Personalization（パーソナライゼーション）
個人に最適化する

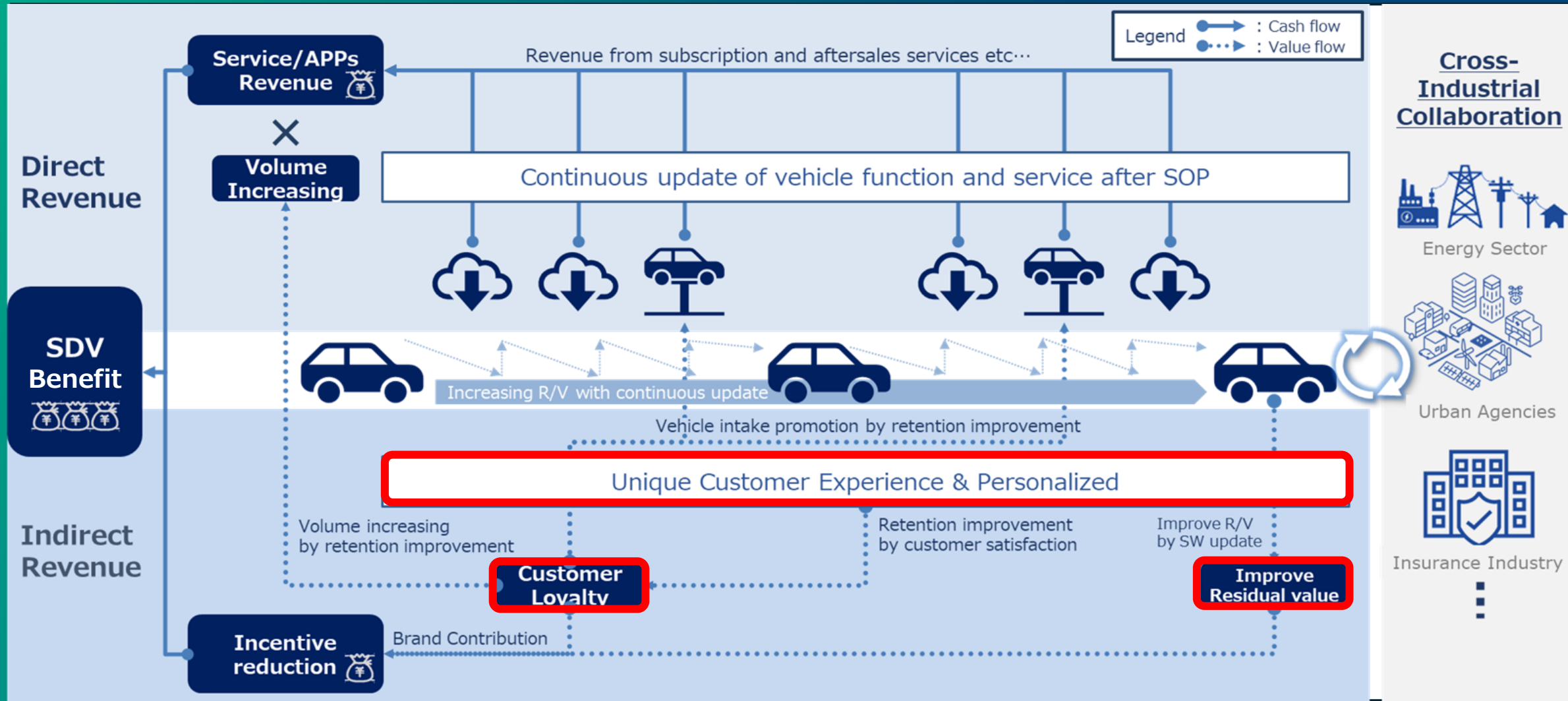


Versatility（汎用性）
移動手段のみにとどまらない使われ方



SDVを支えるビジネスモデル

■ 自動車メーカーとして、顧客体験と残価・リテンションが極めて重要



まとめ

4+

まとめ

1. 日産SDVの歩み

- ✓ SDVコアテクノロジーの進化とともに着実に進化、既にPartnerの皆様とともにサービス提供を開始

2. ユーザー価値向上の取り組み

- ✓ 技術以前に、お客様にとってはUX（顧客体験）が全て
- ✓ 次世代技術として、AI-Driving, AI-Ecosystem, AI-Developmentを強力に推進中

3. ビジネスモデル

- ✓ 自動車メーカーとして、ライフサイクルを通じた利益の創出が必須
- ✓ SDVが実現するものは、ライフサイクルを通じた顧客体験価値の提供
それを支えるのが、劇的な開発スピードの向上とコスト低減
- ✓ 自動車メーカーとして残価・リテンションが極めて重要。併せ、パートナーとのビジネス創出に取り組む

ご清聴ありがとうございました。